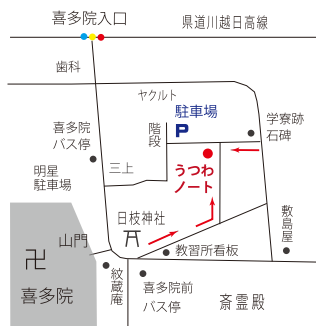




唐津茶碗 口径13 高さ7.8cm



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
 本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
 バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり]～[喜多院前]
 駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス]～[喜多院]
 車：ギャラリー専用の駐車場は北側(5～8番)

GALLERY
 うつわノート

安永頼山 茶盤展

二〇二〇年十月三日(土)～十一日(日) 会期中無休

営業時間 十一時～十八時 作家在廊日 十月三日

ギャラリーうつわノート 埼玉県川越市小仙波町二丁目七の六

- 一九七〇年 島根県益田市生まれ
- 二〇〇一年 田中佐次郎氏に師事
- 二〇〇三年 藤ノ木土平氏に師事
- 二〇〇八年 登り窯を築窯し独立
- 二〇一三年 田中佐次郎氏命名の「頼山」に改名
- 二〇二〇年 現在、佐賀県唐津市北波多にて制作

知音庵・本田麻仙さんによる呈茶席
 十月三日(土)・四日(日)・五日(月)・七日(水)・十日(土)
 十三時、十四時半、十六時 予約可 おひとり様一席 千円
 服装普段着にて・持ち物不要 詳細はネット上でご案内します。

料金後納
ゆうメール



絵唐津茶碗 幅12.5 奥行11 高さ8cm

やすな がらいざん ちわわん
安永頼山 茶盃展

2020年10月3日(土)～11日(日) 会期中無休
営業時間 11時～18時 作家在廊日 10月3日
呈茶席 10月3日・4日・5日・7日・10日
ギャラリーうつわノート 埼玉県川越市小仙波町1-7-6
049-298-8715 utsuwanote@gmail.com

「茶盃を作りたくて唐津に行き、陶芸家になった。」2010年に初めてお会いした時にお聞きした言葉です。その頃はまだ日常使いの器を主体にしたお店を準備中でしたので実を結びませんでした。あれから十年が経ち、ようやく安永頼山(らいざん)さんの展示会が実現します。今展は潔く「茶盃」のみ。唐津系、高麗系の茶盃を中心に約30碗が並ぶ予定です。年に数回焚く登り窯から茶盃として採用するのはごくわずか。本当に気に入った茶盃は年にひと碗あるか無いか。厳しく選んだ茶盃をまとめてご覧頂ける貴重な機会です。大学では法律を学ぶ傍ら、サーキットのバイクレースに傾倒しプロレーサーを目指した時期もあったそうです。卒業後は島根県で公務員を6年経験しますが、手作りの世界に憧れると同時に、茶の湯の盛んな地元の影響もあり、いよいよ茶盃を作るために唐津の田中佐次郎さんの門をたたきました。しかしすぐには実現せず、二回断られた後に念願かかって修業の道へ。田中佐次郎さんの下で二年間、藤ノ木土平さんの三年間の経験を積み、現在の地、佐賀県唐津市北波多にて陶芸に勤しんでいます。今回は茶盃展に併せ、弊店の近くで「小さな茶会所」を主宰されている本田麻仙さんに、安永さんの茶盃による呈茶をお願いしました。愛好家の方はもちろんですが、日頃茶陶に接しない方にもあらためて茶盃の魅力に触れて頂ければと願っております。

店主